

第105期事業報告書

株主の皆様へ



代表取締役社長
林田 紀久男

平素は格別のご支援を賜り、有難く厚くお礼申し上げます。

第105期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）の事業報告書をお届けするにあたり、連結および単体を含め、会社の近況をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、企業収益の改善、設備投資の増加、個人消費の緩やかな増加などを背景とした民間需要に支えられて、景気は回復基調にあります。しかし、現状の景気回復には地方別あるいは産業分野別に格差が生じており、また原油高や米国経済の動向等、景気の下押し要因も抱えており、依然として不透明感が払拭できていない状況にあります。

建設業界におきましては、設備投資を中心とした民間建設投資の回復はあったものの、公共投資は引き続き縮減傾向にあり、厳しい状況に変わりはありません。特に道路建設業界では主力の公共工事の縮減と原油価格高騰による材料費上昇などの影響を受け、一段と厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、各社が有する技術の優位性を活かした舗装工事、土木工事、建築工事等の工事受注の確保、アスファルト合材等の製品販売の拡大、開発事業等の強化に努めるとともに、コスト削減による一層の収益力の向上に取り組んでまいりました。

今後の展望につきましては、国内民間需要に支えられ景気のリcoveryが続くと見込まれておりますが、原油価格の動向や米国経済の動向など景気の下押し要因には、留意が必要であります。

こうした中で、建設業界のおかれた状況は、依然として厳しく、公共投資は国、地方を通じて引き続き前年を下回るものと考えられます。特に道路建設業界は、この公共投資縮減の影響を大きく受けるため、引き続き厳しい状況が予想されます。

このような環境にあっても、当社グループは、技術と経営に優れた企業集団として生き残るため、組織機構の改革、技術力の向上、営業力の強化に努めるとともに、生産性の向上とコスト削減を確実に進め、競争力の強化に取り組んでまいります。そして、舗装工事、土木工事、製品販売の収益基盤のいっそうの確立を進めるとともに、建築、開発、プラントエンジニアリング、土壌浄化等の分野の収益力向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格段のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月

株式会社 NIPPOコーポレーション

代表取締役社長

林田 紀久男

大地に自然をとりもどすトータルサポート 土壌・地下水浄化システム

NIPPOは、土壌・地下水汚染を重要な問題としてとらえ、トータルエンジニアとして、その調査、分析、汚染の評価、浄化計画、工事および監視に至る一貫したサービスを、お客様の立場に立ってご提供致します。

NIPPOの土壌・地下水汚染の対策工法

油汚染浄化

▶ 乾燥加熱浄化工法



袖ヶ浦土壌浄化センター

▶ バイオ浄化工法



バイオパイル

- ▶ 生石灰混合工法
- ▶ 原位置化学酸化工法
- ▶ アスファルト舗装への有効利用

VOCs汚染浄化

▶ 原位置化学酸化工法



酸化剤混合状況

▶ ホットソイル工法



ホットソイル混合状況

- ▶ 土壌ガス吸引工法
- ▶ 原位置バイオ浄化工法
- ▶ 土壌還元工法

重金属等汚染浄化

▶ 不溶化工法



天然鉱物材料の混合状況

- ▶ 封じ込め工法
- ▶ 土壌洗浄工法
- ▶ セメント原料化

地下水汚染浄化

▶ 揚水曝気工法



揚水曝気装置

▶ 原位置化学酸化工法



酸化剤注入井戸とモニタリング状況

その他の汚染浄化

ダイオキシン類、PCB、PO

P s 農薬に汚染された土壌の浄化対策も対応致します。

官公庁発注の土壌・地下水汚染調査、土壌・地下水浄化対策工事(重金属等並びにVOCs)の実績もあります。

VOCs : 揮発性有機化合物 (Volatile Organic Compounds)
POP s : 残留性有機汚染物質 (Persistent Organic Pollutants)

路面温度の上昇を抑制する保水性舗装

クールポリシール

「クールポリシール」は舗装体に保持された水分が蒸発する際の気化熱を利用して、効果的に日中の路面温度の上昇を抑制する舗装です。

これにより、ヒートアイランド現象の緩和と夏期の歩行環境の改善が図られます。



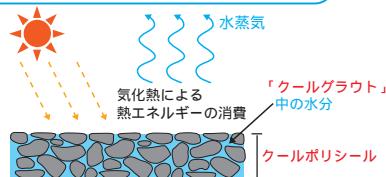
京都府のJR長岡京駅西口のロータリーへの適用例です。路線バスも入るため、高粘度の改質アスファルトを使用しました。



沖縄市中央公園内の通路にも採用され、市民の憩いの場として好評を得ています。



クールポリシールのイメージ



開粒度アスファルト混合物の空隙に、保水効果の高い「クールグラウト」を充填し、水が蒸発する時の気化熱を利用して路面温度の上昇を抑えます。

特長

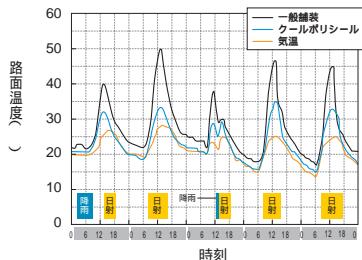
保水機能.....高い保水能力を持ち、雨水をすばやく吸収して効果を持続します。

温度抑制機能...水分の気化熱を利用して、路面温度の上昇を抑制します。

幅広い適用性...重交通道路から軽交通道路まで、また歩道へ適用することも可能です。

温度抑制効果

クールポリシールの最高路面温度は、一般舗装に比べて**最大15** 程度低減します。



安全・環境重視の経済的な薄層排水性舗装

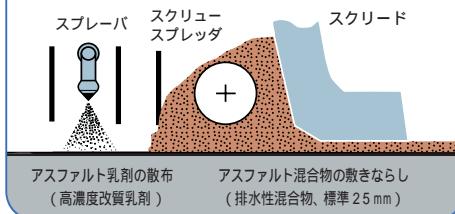
セーフペーパー

「セーフペーパー」とは、乳剤散布装置付きアスファルトフィニッシャ「セーフペーパー」により、タックコート用乳剤を散布しながら排水性アスコンを敷きならし、短い施工時間で舗設する工法です。薄層化により高価な排水性混合物の材料費をコストダウンできるため、経済的な排水性舗装です。



福井県内 国道8号線 完成状況

施工方法（模式図）



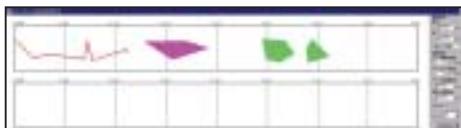
舗装の表面を迅速・経済的・安全に測定・評価

ロードスキャン

舗装の維持管理に関して、現在の路面がどのようになっているかを評価することは、舗装のアセットマネジメントにおける重要な基礎データになります。「ロードスキャン」は、舗装路面のひびわれ、わだち掘れ、縦断凹凸の路面性状を迅速かつ経済的、安全に測定する装置です。

特長

- 幅員が変化しても連続測定が可能
- 測定時の最大速度は**85km/h**
- アスファルト舗装とコンクリート舗装が混在する区間の連続測定が可能



ひびわれ図の出力例



完成工事ハイライト



● 東九州自動車道小倉舗装工事
【福岡県】

● 神戸空港滑走路等舗装工事(その3)
【兵庫県】



● マンション建築工事
【北海道】